

ときめく、ひろがる、みんなのワクワク!

県広報とやま



とみら



特集1: 移住者×地域で紡ぐ 新たな富山の魅力

特集2: 宅配便、1回で受け取れていますか?

2024

8

August

NO.512

令和6年8月4日発行

ほほえみナビ
今回のテーマ
「移住」



富山県に移住し、農園や民泊などを経営

坂口創作さん



移住相談から受け入れ後のサポートまで

なんと未来支援センター

常本裕斗さん 原由紀さん

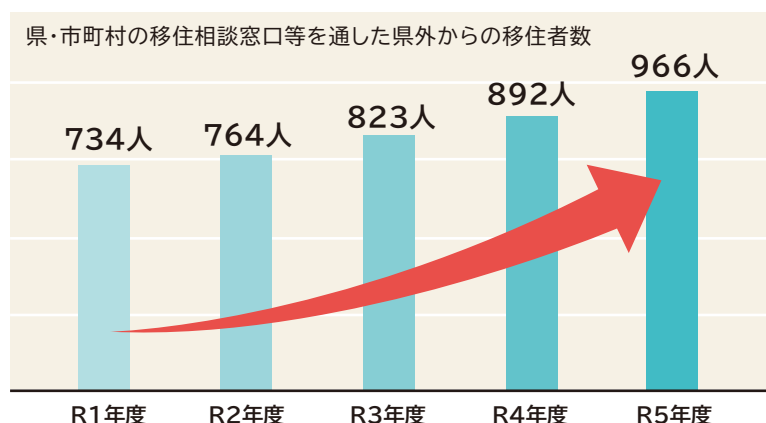
[インタビュー記事は次頁へ](#)

新たなつながり、ここ富山で。移住者と紡ぐ地域の魅力。

今、富山県に移住する人が増えています。新たな暮らしの場として富山県を選んだ移住者が、地域の人も気づいていなかった魅力を発見したり、地域内外の人を巻き込みながら積極的にまちづくりに関わったりと新しい風を運んでいます。その背景には、富山県の生活環境のよさや自然の魅力だけでなく、生活のリアルを伝え、移住者が地域の一員として暮らしていくためのサポートを行っている人がいます。

人口減少が進む中、地域を活性化させ、富山の地で多くの人々が長く幸せに暮らすためには、移住者と地域の人など多様な人が協力して、新たな魅力を発見したり、まちづくりを進めたりすることが大切だと考えます。

富山県への移住者数の推移



移住者×地域で紡ぐ 新たな富山の魅力

富山県に移住し、地域の人と連携しながら様々な活動をしている移住者と、移住検討者への相談対応や移住者が地域に溶け込めるようサポートしている方々にお話を伺いました。

Interview

Profile_1

坂口創作さん (立山町)

福岡県福岡市出身。サラリーマンとして12年間国内外で勤めたのち、2016年に東京から立山町に移住。移住後は、農園の経営や空き家を改修した民泊の実施、新規就農者の支援、地区の未来構想づくりに携わるなど、様々な活動に取り組んでいる。



立山の風景を見て直感

自然の豊かな場所で生活したい、のびのびと子育てできたらなああと、漠然とした気持ちがあったという坂口さん。「立山の風景がよかった。ここは面白そう。直感ですね」。会社を辞め、35歳のときに家族で移住。「環境は東京と大きく変わりますが、自分や家族にとって豊かな暮らしや新しい可能性が拓ける。最初は大変でも長い目で見たら楽しい展開になると思いましたね」。富山に来てすぐ、とやま農業未来カレッジに入学しました。

移住者だから、広がるネットワーク

カレッジ修了後の2018年に白雪農園を設立。「せっかく田園に移住するなら、農業を中心にいろんなことをやろうと」。農業、耕作放棄地を活用したポニー牧場、農と食を楽しむ『立山収穫祭』、親子で里山の自然や暮らしを体験する週末プログラム『里のようちえん』の開発のほか、移住の相談にも応じています。今年3月には巡礼宿『宿坊立山』がオープン。多様な営みがつながることで地域の再生を目指す坂口さん。そこには、しがらみのない移住者ならではの動きやすさがあるのかもしれない。

地域に一步、踏み出してみる

移住のかたちは人それぞれですが、共通するのは地域との関わり。地域に溶け込むために、私の場合と前置きしながら坂口さんはこう話します。「富山は勤勉な土地柄。一生懸命な人が認められる。力仕事を買って出る、困りごとの相談にのる、そうやって地域に一步踏み出すことで、いつの間にか仲間が増え、自分の活動の応援もしてくれるようになりました」。地域との関わり方はいろいろあるけれど、地域の一員として、支え合いながら暮らしていければ、と坂口さんは考えます。

なんと未来支援センター (南砺市)

地域で活躍できる人材の支援や育成、若者から高齢者まで幸せに安心して暮らせるまちづくりに総合的に取り組む団体。県内市町村で移住者数ランキング3位の南砺市の移住相談対応や現地受け入れなども担っている。



カルテを作成し、きめ細かい対応を

なんと未来支援センターは2019年4月に設立されました。移住体験ツアーの企画運営や移住体験ハウスの管理、移住希望者のサポートなどが主な事業です。「移住検討者は一人ひとりにカルテを作成します。氏名・住所などの基本情報に加え、移住についての希望や要望などもできる限り詳しく書き込むことで、後々の情報提供やきめ細かい対応に活かしています。カルテ作成は、支援センターの大きな特徴ですね」(原さん)

自分らしい暮らしを叶えられるまち

県内でも移住者の多い南砺市。2023年度、支援センターが関わった移住者は14組26人。「20~30代の独身の人が多く、まちづくりや農・林業に興味を持つ人も多いです。井波地域では起業を目的に来られる人もいますよ」(常本さん)。近年の事例では、井波彫刻に魅せられた人形作家の方や自然豊かな里山にのんびりライフを求めて来られた方、都会を離れ自給自足の暮らしを目指すご家族など、自分らしい暮らしを叶えているそうです。

“移住してよかった”のために

「支援センターでは、移住希望者に対するきめ細やかなプログラムを独自に用意しています。不安を解消し、納得して移住してもらうには一人ひとりの心に寄り添う対応が求められますね」(原さん)。「移住体験ツアーでは地元の人にも参加してもらい、交流する機会を作っています。地域を巻き込む意識も大切ではないでしょうか」(常本さん)。それぞれの地域で“移住してよかった”につながる迎え方を考えていきたいですね。

富山県の移住の取組み

移住・定住促進サイト「くらしたい国、富山」

「くらしたい国、富山」公式HPでは、富山県への移住を考えている方に向けて、富山暮らしの魅力や仕事探し、移住のすすめかたなどを紹介しています。相談窓口や支援制度、セミナーやフェアなどのイベント情報も掲載しているので、移住を考えている方にぜひご紹介ください。



HPはこちら

富山くらし・しごと支援センター

富山移住のプロフェッショナルたちが、移住前はもちろん、移住後も手厚くサポートする相談窓口です。オンラインもしくは対面で、全国5箇所(東京/有楽町・飯田橋、大阪、名古屋、富山)の移住相談窓口へ相談が可能です。

全国5箇所のオフィスになんでもご相談ください!

就職支援



くらしの相談

補助金
支援制度
のご案内



富山オフィスのみなさん

富山市内のとやま自遊館にある富山オフィスでは、移住相談のほか、現地案内や移住者交流会を開催しています。

Pick
UP

移住者交流会

県では、移住者交流会を年間5回開催しています。プログラムはさまざま、ます寿し作りなどの富山県の魅力を知っていただくためのワークショップも企画しています。移住者の知人・友人を作りたい方、富山暮らしのあれこれを語り合いたい方など皆様の参加をお待ちしています。



宅配便、1回で受け取れていますか？

今や私たちの生活に欠かせない便利な宅配サービス。一方で、再配達の増加が大きな社会問題になっています。

ライフスタイルに合わせた受取方法で再配達を減らしましょう。

宅配便を1回で受け取ることで、ドライバーの労働力や地球環境への負荷を減らすことができます。

宅配便は全国で
年間約**50.1**億個
(2022年度、国土交通省)



そのうち
約**11%**が再配達！
(2023年10月、国土交通省)



動画公開中
考えよう。再配達削減。



再配達で生じる
ドライバーの労働力は
年間約**6**万人分
(約11%の再配達を
労働力に換算)



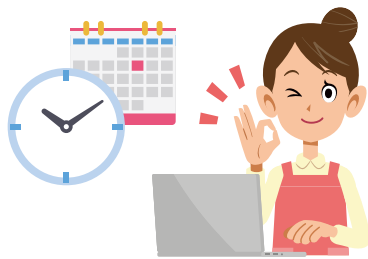
再配達トラックからの
CO₂排出は
年間約**26**万t
(約11%の再配達をCO₂排出量に換算)



「再配達削減」がなぜ必要？

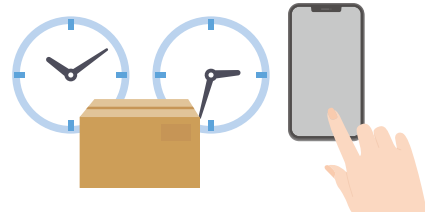
ライフスタイルに合わせた受け取り方を選択しましょう

1 時間帯指定の活用



確実に受け取れる日時・場所を指定しましょう。

2 宅配業者のお届けサービス (メール・アプリ)の活用



事業者によっては、配達予定の通知が届いたり、配達前に受取日時や場所の変更ができます。

3 多様な受取方法の活用



- コンビニエンスストアや職場など自宅以外での受取
- ドラッグストア等に設置された宅配ロッカーの利用
- 宅配ボックスや置き配サービスの活用

再配達を減らすために
今、私たちができること！

立山博物館は、立山の自然、信仰・文化が学べる「展示館」、臨場感ある映像を3面大型スクリーンでご覧いただける「^{ようぼう}眺望館」、立山^{まんだら}曼荼羅の世界を五感で体感できる「まんだら遊苑」などからなる施設です。県では、立山博物館を中核にした立山エリアの文化観光を推進するため、立山博物館の展示の磨き上げや情報発信の強化を行っています。

ポイント

1

HPをリニューアル!

施設をよりわかりやすく、そして立山信仰など立山の文化・歴史についてより詳しく紹介しています。さらにデジタルガイドマップの導入で、来館時にスマホで現在地を確認しながら博物館周辺の散策が可能になりました。



HPはこちら

ポイント

2

高精細「デジタル立山曼荼羅」展示を導入!

展示館2階に、高精細デジタル化した立山曼荼羅をタッチパネルモニターにて展示。指先で簡単に拡大・縮小といった操作ができ、紙や絹などの質感や細かい筆さばき、描かれている場面といったものもつぶさに見ることができます。



ポイント

3

富山県・石川県・静岡県「日本三霊山」連携事業 前期特別企画展

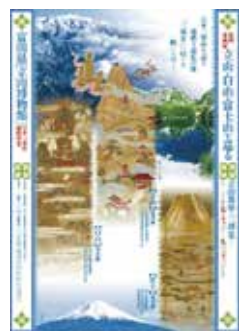
「立山・白山・富士山を巡る一立山衆徒と三禅定」開催中!

立山・白山・富士山を「日本三霊山」といい、江戸時代、この三山を巡る旅を「三禅定」と呼びました。本展では、「三禅定」を行った人々の日記などを手掛かりに、三山を巡る旅の歴史の意味、三山への信仰などを紹介します。

【会期】 9月23(月・振替休日)まで

※休館日は月曜日(8月12日、9月16日、9月23日は開館)、9月17日(火)

開館時間や観覧料などの詳細は、立山博物館HPでご確認ください。



◎この件のお問合せは 富山県[立山博物館] TEL.076-481-1216
県文化振興室 TEL.076-444-3436

ハチロウの きときと通信



先日、富山県と中国遼寧省の友好県省締結40周年を記念し、中国を訪問してきました。中国では、両県省の交流は「自治体交流のお手本」といわれ、モデル友好都市にも選ばれています。40周年の交流の積み重ねを実感する熱烈な歓迎のもと、県と遼寧省政府をはじめ、5つのカウンターパート同士で交流と協力の覚書を結びました。

この交流の懸け橋となってきたのが、平成10年に就航した大連市との定期航空便です。新型コロナウイルスの影響で令和2年2月から運休していましたが、今回の訪問期間中に中国南方航空大連分公司の楊涛(ようとう)副総経理と協議し、6月26日からの週2便での運行再開につなげることができました。

また、今年は40周年記念事業として大学生同士の派遣事業を9月と11月に行う予定ですが、今回、青少年の相互交流をはじめとした人的往来の推進を遼寧省との覚書に盛り込みました。

こうして積み重ねてきた交流で築いた厚い信頼関係を次の世代にも継承しつつ、未来に向けた施策にもどんどんチャレンジしていきたいと思います。

富山県知事 **新田八朗**



Q

○の中に数字を入れてください。

移住のことなら、
全国〇箇所にある
「富山くらし・ごと支援センター」に
なんでも相談!

正解者の中から
15名の方に
プレゼント!



富のおもちかえり
『黒とろろ昆布ふりかけ3種』

はがき応募:①~⑧の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。応募は1人1回までとし、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥年齢、⑦特に興味を持ったコーナー名⑧本紙の感想
※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。
宛先/〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま8月号クイズ係」締切/8月30日(金)必着
◎前回(6月号)の答え…「共助」応募総数1437人 正解者数1427人 たくさんのご応募ありがとうございました。



WEBでのご応募はこちら▲


富山県こどもみらい館 夏のイベント
 TOYAMA CHILDREN'S CENTER

こどもみらい館は、子どもたちが集い、遊び、学び、フレッシュな好奇心や冒険心を存分に発揮できる「こどもの街」です。こどもみらい館で家族みんなで楽しい休日を過ごしてみませんか。



詳細はこちら▲

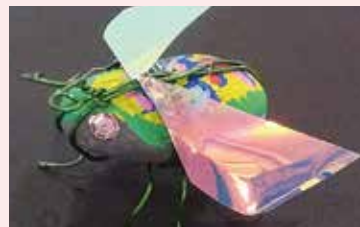
①チャレンジラリー「サインでGo!サインで遊ぼう」

交通標識やピクトグラムなど、私たちの周りにはサインがいっぱい!みんなはどのくらい知ってるかな?さあ、サインを追って館内を探検しよう!!

期間 実施中～8月20日(火) ※参加無料

②夏のクラフトランド「①はばたきバード」「②シンカイカード」「③いししむシ」

夏休みだ!木工や石、針金を素材にいきものを作ろう。不思議なカードも作れるよ!



期間 実施中～9月8日(日) ※参加料150円～300円

③「VOICE!こどもみらいか～ん!みんなの声 こえ KOE 展」

みんなの思いや願い、つぶやきなどをこどもみらい館から発信!こどももおとなも、みんなの声をきかせてね!

期間 実施中～9月29日(日) ※参加無料



◎問合せ先:富山県こどもみらい館 TEL:0766-56-9000
(射水市黒河4774-6 県民公園太閤山ランド内)

県職員、こんな仕事
しています!

県庁おしごと人図鑑 Vol.2



(左から)富本さん、市井さん、前川さん

所属

地方創生局

ワンチームとやま推進室 地方創生・移住交流課

富山の推しポイント

県内どこにでもさくっと行ける
コンパクトさが便利

普段の
お仕事

富山県への移住を促進するため、情報発信や相談対応などの仕事をしています。富山県の生活環境のよさは全国でもトップクラスと考えていますが、よさだけじゃないリアルを移住検討者に伝えることで、「こんなはずじゃなかった」というミスマッチを防ぐことが大事と考えています。そのように真摯に移住検討者に向き合うことで、富山県で幸せに暮らす人が増え、地域が元気になる…そんな未来を思い描きながら仕事にあたっています。

県民のみなさんにひと言!

「富山にはなーんもないちゃ」と言いがちですが、富山県には魅力がたくさんあります。ぜひ魅力を見つけていただき、県外のご家族や友人に伝えてみてください!

特集1では私たちの
取組みも紹介しています♪

おでかけ情報

富山県中央植物園

富山市婦中町上轡田42 TEL.076-466-4187



夏休み子ども企画「森のクラフト」

どんぐりやマツボックリなどの木の実や小枝を使って自由に工作をしよう。

期間 開催中～8月28日(水)
※8月4日(日)を除く

時間 9:00～17:00
(体験受付は16:00まで)

料金 1作品につき200円(年齢制限なし)
入園料 大人500円(高校生以下・70歳以上無料)



夜の熱帯植物探検

温室を探検しながら、夜に咲いたり、香りがする熱帯植物を観察しよう。

期間 8月23日(金)、24日(土)

時間 18:30～21:00
(入園は20:30まで)

料金 夜間入園料 大人250円
(高校生以下・70歳以上無料)



海王丸パーク

射水市海王町8番地 TEL.0766-82-5181



海王丸総帆展帆(そうはんてんぱん)

展帆ボランティアの協力により、帆船海王丸の全ての帆を広げ、海の貴婦人と称された優美な姿を披露します。

期間 8月4日(日)、9月1日(日)、16日(月・祝)

時間 展帆作業 10:00～11:30
畳帆(じょうはん)作業 14:00～15:30

親子展帆体験

親子(子供は小学生以上)で海王丸の帆を広げる展帆体験を実施します。

期間 8月11日(日・祝)

時間 11:00～、14:00～

定員 各回15名(同伴者含む)

申込 当日、乗船口付近にて受付
(先着順)



岐阜県にお出かけしませんか？

富山県と岐阜県は、東海北陸自動車道が全線開通した7月5日を「富山・岐阜交流の日」と定め、お互いの県の魅力をPRしています。



速旅「飛騨・富山ドライブプラン」

富山県と岐阜県飛騨・郡上地域の周遊エリア内の高速道路が2日間もしくは3日間定額で乗り放題になるお得なプランです。ご利用内容によっては、通常の高速度道路料金に比べて約40%割引で周遊いただけます。

期間 実施中～12月25日(水)
※お盆、シルバーウィークの期間は除く。

料金 普通車 連続2日間 4,200円～

条件 ETC車(普通・軽・二輪車)

※「NEXCO中日本公式ホームページ」での事前申し込みが必要です。

問合せ先:

キャンペーンについて:NEXCO中日本お客様センター
TEL.0120-922-229

岐阜県内観光について:岐阜県観光誘客推進課
TEL.058-272-8393



「清流の国ぎふ」
マスコットキャラクター
「ミナモ」



開催状況など
最新の情報は、
ホームページを
ご確認ください。



県政やイベントの
情報などを
発信しています。



(旧Twitter)
富山県



富山県



note

富山県
公式note



県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478



E-mailは左記のお問い合わせ
フォームよりお送りください



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)でも配布しています。また、本号とバックナンバーは県のホームページで閲覧できます。

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。上記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

県広報とやま